白河第二中学校
学校だより

高嶺

白河第二中学校　第３２号
令和２年１２月２４日
文責：校長　小林　敏史

2学期、無事終えることができました

本日で２学期も終了となりました。コロナ渦のため、様々な制約や我慢を強いられながらも、日々の生活はもとより、新人戦や紅葉祭、体育祭などの行事の中で、たくさんの笑顔を見ることができ、心から嬉しく思います。

令和２年度　第２学期終業式　式辞　※　抜粋

１２月２１日（月）は，「冬至」でした。今日は，この冬至にちなんだ話をします。
冬至は皆さん知っているとおり，太陽の位置が １ 年で最も低くなり，昼間が最も短くなる日です。この日には，昔から冬至の「と」にちなんで，唐茄子（とうなす）や豆腐など「と」がつくものを食べる習慣があります。唐茄子とはカボチャのことで，この時期にとれるものの中では栄養価が高いので，食べるとよいとされています。
この日が一年で最も昼が短くなるということは，この日を境にまた昼間の時間がどんどん長くなっていくということです。つまり春に向かっての準備が静かに，しかし確実に始まったということです。
さて、私たちの生活に置き換えて考えてみましょう。２学期の次は何学期ですか？　そう、３学期ですよね。１年の総仕上げの３学期であるとともに、新しい学年に向けた「０学期」です。
つまり、１月から１年生は，「２年０学期」，２年生は「３年０学期」，３年生は「高校生０学期」です。それぞれの「４月からの自分」に向けた「準備の学期」です。何ごとにも，「本番での勝負」が来る前に，実は「準備の勝負」があります。準備の勝負とは多くの場合，「スタート時期の勝負」です。早くスタートすれば，その分早くゴールに着くことができるからです。でもこのスタートは，ピストルが鳴りません。そのことに気付いた人から静かに、でも着実にスタートしています。

冬至から春の一部が始まるように，未来に起こる結果の多くは，今既に起きているのです。結果はいきなり起きるのではなく，現在，皆さんが準備しているものが形になって表れてくるだけなのです。
４月からの新しい生活を意識することで，今の生活の一日一日，一歩一歩が助走となり，新生活でのジャンプに繋がります。そのためには、次の２つのことが大切になります
① 未来の自分の姿を想像する（一歩先を考える）
② その時にしているはずのことを行動に移す（一歩先に行動する）

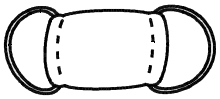
具体的な行動は自分で考えましょう。勉強かもしれない。部活動かもしれない。友達との関係かもしれないし、自分自身の生活を見直す作業かもしれない。一人一人持っている課題が違います。要は、「私の課題はこれ！　だから春までに〇〇したい！」と明確に意識することです。
３月には，自分自身の課題をクリアして、ゴールテープを両手を挙げて走り抜けている自分をイメージしましょう。そして４月から、本当の１学期をスタートさせましょう。
この冬休みには，自分で使える時間が格段に増えます。自分で健康と生活時間の管理に気を配り，新年，それぞれの「０学期」には、また全員元気な顔で会いましょう。

お待たせしました！

本日、紅葉祭記録DVDを配付しました。コロナ感染症予防のため保護者の皆様に参観いただけず残念でしたが、素晴らしい映像に仕上がっています。ぜひご家族でご鑑賞ください。

マスクを寄贈していただきました。

先日、本校保護者の加古麻美様から、学校に不織布マスク４,０００枚を寄贈していただきました。コロナ感染症が拡大傾向にある中、これだけの数を学校にストックできることは、大変にありがたいことです。今後大切に使わせていただきます。



〈３学期　第１週の予定〉

日	曜	主　な　行　事
4	月	冬季休業　　仕事始め
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	３学期始業式 金の１・２の授業 プレスペリングコンテスト（５校時）

◇◇ 今週の言葉 ◇◇

倒れてしまうほど頑張る必要はありません。
でも、そのぎりぎりまで頑張らないと
見えないことや、手に入らないものもあります。
「限界に挑戦する」とは、そういうことです。

～　見極めるのは自分自身です　～